

2023 年度 SXIP YNU 国際シンポジウムを開催しました。

9 月 13 日（水）と 14 日（木）に協定校の 5 大学から 16 名の学生と 4 大学から 4 名の教員をお迎えし、YNU 国際シンポジウムを開催しました。



13 日（水）の前半は招聘学生と本学学生による国際協働学修の成果発表が行われ、学生に対する課題の提供に協力頂いた企業（スズキ㈱、野村証券㈱、東レ㈱）から「水欠乏問題」、「素材」、「ファイナンス」、「インクルーシブ」に関する 4 つの課題を提示頂き、各グループが取り組みました。企業の方々にご参加して頂き、学生の発表に対する講評を頂きました。



後半は、オンライン参加となった 2 つの大学の教員が加わり、協定校の 6 大学(全校)から、各教員の専門分野を中心としたテーマでご講演頂きました。

夕方にコロキウムを大学会館にて行い、昼間の様子よりも一層打ち解けた雰囲気の中で招聘学生・教員、本学学生・教職員が軽食をはさみながら SX について語り合いました。



14日（木）の前半は本学教員に加え、エチオピア、デンマーク、オーストラリアからのリモートで SX に関連するご講演をして頂きました。後半は招聘学生、本学学生（SXIP 参加者以外も含む）によるポスター発表を行いました（全部で 50 数件）。

シンポジウムの終了後に、「修了証」を授与しました。招聘学生と本学学生が肩を組みあってグループ写真を撮り始めるなど別れが名残り惜しそうな様子でしたが、修了式をもって全てのプログラムを修了しました。



なお、YNU シンポジウムに先立ち 9 月 6 日（水）から 12 日（火）まで、YOKOHAMA-SXIP プログラムの活動として、招聘学生と本学学生は、以下のような活動に取り組みました。

- 6 日（水）招聘学生 16 名（パンジャブ大 3 名、IIT カンプル 3 名、VIT4 名、アンナ大 3 名、ニューカッスル大 3 名）、並びに招聘教員 3 名（パンジャブ大、VIT、アンナ大から各 1 名。なお IIT カンプルの教員は 12 日合流）が順次来日。オリエンテーションを実施しました。
- 7 日（木）学内で招聘学生と本学学生との間で、企業から提示された課題や持続可能社会への移行についてのグループ協働学修を行うとともに日本文化に関する講義を受講しました。



- 8日（金）インダストリアルツアーの予定でしたが、台風13号接近にともなう暴風雨のため学内に注意警報が発出された為、ツアー開催を見合わせました。
- 9日（土）自由行動。
- 10日（日）横浜みなと博物館と三溪園を訪問。神奈川SGGクラブ様の御協力を頂き、ボランティアの通訳ガイドの方から、豊富な歴史・地理の知識に基づいた、流ちょうな英語により説明頂き、カルチュラルツアーが行われました。



- 11日（月）インダストリアルツアーとして、東芝様の京浜工場、並びに、横浜市北部第二水再生センター様を訪問。東芝様では大量の巨大タービンと巨大発電機の製作の様態を見学し、水再生センター様ではコントロールルーム見学、水再生の仕組みのサンプルを用いた説明、再生装置の実機稼働する現場での説明を受けました。



- 12日（火）本学内のラボ（研究所）ツアー及び大型実験水槽の視察を実施しました。夕方は学生はグループ協働学修の総まとめと翌日使用するプレゼン資料の完成を行いました。